

出前講座を実施「インフラの老朽化について」 ～同志社中学校、京都工学院高等学校～

- 令和2年2月10日と17日に同志社中学校、2月12日に京都工学院高等学校で、普段身近に使っている道路や橋などのインフラの老朽化を知ってもらうため、出前講座を実施しました。
- 出前講座では、老朽化した橋や道路の現状、点検方法、強靱化対策などを講義したあと、VRによる高所点検の体験や、今後、橋梁などの点検への活用を検討しているドローンの操縦体験を行って頂きました。

出前講座



(同志社中学校)

VRによる高所点検の体験



(同志社中学校)

出前講座



(京都工学院高等学校)

高所作業の実演



(京都工学院高等学校)

ドローンの操縦体験



(京都工学院高等学校)

ドローンの操縦体験



(同志社中学校)

生徒の感想(中学校)

- こんなに老朽化が進んでいたと知らなかったのが現実問題から未来を考えるきっかけになったと思います。
- 自分の知らないところで老朽化が進んでいるということがわかりました。しっかり点検をして、早めに直さないといけないと思いました。VRやドローンという貴重な体験ができてよかったです。
- どんな細かいことでも、点検して直していかないといずれは大きなことにつながるから、すぐに見つけて直すということの大切さがわかった。
- 色々なものを点検するということをやりたい。
- 京都だけでなく、全国に、多くの耐震補強の必要な橋や、修繕工場の必要な道路がたくさんあるので、もっと、一人一人が、インフラについて関心を持ち、今の日本のインフラの老朽化が進んでいるという現状を知っていく必要があると思います。また、老朽化で、危険な場所などを見つけたら、役所に報告をするなど、私達に出来ることもたくさんあるんだな。と思いました。